

## 5 上海および青島における紡績罷業事件

324 昭和11年11月9日 在上海若杉總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

上海の邦人経営紡績工場において罷業開始に

ついて

上 海 11月9日後発  
本 省 11月9日後着

第五〇六號

當地日本紡績工場中上海紡織第一、三、五工場同興紡績第二工場及東華紡績工場工人(全部女工)一部(何レモ百乃至三百餘)ハ八日午後六時ヨリ工賃ノ値上ヲ要求シ罷業ヲ開始シタル處工場主側トノ折衝進捗セス九日朝ニ至リテハ更ニ擴大シテ上紡ハ第一乃至五工場及同興、東華共全部(合計約一萬人)操業セス爭議ハ漸次他會社ノ工場ニモ波及スル虞アリ工部局警察ト連絡シテ特ニ警戒中ナリ右ハ最近紡績業ノ活況ニ依リ閉鎖中又ハ短操中ニ支那紡績モ殆ント全部全運轉ヲ開始スルニ至リタルヲ以テ工人ハ工賃ノ値上ヲ要求シ一時爭議ニ入りタルカ支那紡績工場ハ大部分退場セリ

リ就業ヲ肯セサル態度ナルニ鑑ミ上紡及同興兩會社ハ九日朝一律ニ工賃(五%)ノ値上ヲ發表シタル處工人側ハ之ニ満足セス各工場共工人ハ退場スルニ至レリ工人側主張ハ各工場ニ依リ又各作業部門ニ依リ區々ニシテ一割五分乃至二割五分程度ヲ叫ヒ居レリ東華紡ハ未タ具體的賃率ヲ示サス工人ハ全部退場セリ

326 昭和11年11月11日 在上海若杉總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

上海紡績罷業に対する工部局警察等の取締状況について

上 海 11月11日後発  
本 省 11月11日夜着

第五〇七號

325 昭和11年11月10日 在上海若杉總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

上海紡績罷業には抗日救国会の関与が疑われる旨報告

支へ轉報シ南京、北平、天津、濟南、青島、漢口、廣東、香港、滿洲轉電セリ

満ヨリ關東局總長へ轉報アリタシ

體一割ノ値上ヲ發表シタル爲現在ハ下火ニナリ居ル等ノ影響ニ依ルモノト認メラル處背後ニハ上海工會聯合會力工人救國會ノ名ニ於テ策動シツツアルモノノ如ク現在迄ノ處工人ハ何レモ暴行等ノ舉ニ出テス進ンテ代表等モ出シ居ラス會社側ハ多少ノ値上ハ容認スヘキ態度ヲ示シ居ル趣ナルカ當館ニ於テモ成行目下嚴戒中ナリ

滿ヨリ關東局總長へ轉報アリタシ

二 日中諸案件交渉

(1)今般ノ罷業工人ノ大部分ハ罷業ノ意思ヲ有セサルモノノ如ク

朝晚共出勤時間ニハ工場前ニ相當集合スルモ不良分子ノ

警戒ノ要アリト認メラル

前電同様轉電、轉報セリ

滿ヨリ關東局へ轉報アリタシ

阻止ニ依リテ入場シ得サル狀況ナルニ鑑ミ當業者ノ意嚮

モ參酌シテ工部局警察及市政府ニ申入レ是等不良分子ノ

取締ヲ特ニ嚴ニシタル處十一日朝ハ大康ハ約八割(一、

八〇〇名位)入場シ又罷業中ノ東華紡ハ工賃支拂日ナル

關係モアリ約九割入場シテ操業ヲ開始シタリ

(三)罷業工人千餘名ハ十一日朝楊樹浦ニ集合シ請願團ノ大旗ヲ樹テ午前八時頃市政府ニ向テ出發シ途中東華紡績附近ニ於テ九時ヨリ約一時間演説等ヲ爲シ上海紡織第一、二、三、四、五、六及同興東華工人代表ナル記名アル請願宣言ヲ撒布シタル處公安局警察ハ代表九名ヲノミ市政府ニ向ハシメ其ノ他ハ解散セシメルヲ以テ彼等ハ明十二日午前八時ヲ期シ東華紡附近ニ於テ右代表ノ經過報告ヲ聽クヘク會合スル豫定ナリトノ報アリ

前電通り轉電轉報セリ

満ヨリ關東局總長ヘ轉報アリタシ

327 昭和11年11月14日 在上海若杉總領事より

有田外務大臣宛(電報)

上海紡績罷業に関し東部方面は常態に復帰し

328 昭和11年11月18日 在上海若杉總領事より

有田外務大臣宛(電報)

上海西部方面の邦人紡績工場において機械破

### 壊を発端とする暴動事件発生について

上 海 11月18日後発  
本 省 11月18日夜着

<sup>(1)</sup>第五三一號  
往電第五二八號ニ關シ

西部方面工場ニハ動搖アリタルニ付警戒中ノ處十七日午後六時(晝夜勤工交替時)豊田紡績第一工場(工人三、二〇〇人)ノ門扉ヲ閉鎖シタル者アリ爲ニ晝勤工ハ場内ニ逆戻シ夜勤工就業中機械ヲ止メ形勢不穩トナリタルニ付工場側ハ直ニ全職工ヲ退場セシメタリ之ニ隣接スル第二工場(工人一、二〇〇)ニ於テハ前記第一工場ノ狀況ニ鑑ミ表口ノ鐵門(「コンクリート」ニ取付ケタル二重門扉)ヲ閉シ操業シリタル處第一工場ヲ出テタル工人約一千名聚集シテ外門扉ヲ破壊シ場内ニ闖入スルニ至リ工場側ニテハ危険ヲ感シ場内全部消燈シタルカ闖入者中ニ變電所ヲ發見シテ「スキツチ」ヲ入レタル者アリ暴徒ハ二階精紡部ニ闖入シ手當次度ニ破壊スルニ至レリ

<sup>(2)</sup>損害程度目下調査中ナルカ相當巨額ニ達スル見込ナリ此ノ間第二工場工人ハ殆ト全部カ避難退場シタルモ聚集セル群集ハ直ニ驅ケツケタル公安局員、工部局警察隊ニ反抗シ投石、棍棒ヲ振り廻シ中ニハ青龍刀ヲ持チタル者等アリ公安局巡警三、四名、工部局警察官二、四名及第二工場長等夫々負傷セリ群集中負傷者ノ有無判明セサルモ工場附近ヲ追ハレタル群集ハ支那街ニ入り午後十時半頃迄警戒隊ト對峙シ居タリ事態以上ノ如クニテ工部局ハ露西亞人義勇隊數十名ヲ出動セシメ又陸戰隊ハ從來同紡ニハ一個小隊ヲ駐屯セシメ居リタルカ本事件ノ爲更ニ一個小隊半ヲ増派シタリ右襲來者中ニハ學生風ノ者多數アリ又「コンクリート」破壊用鑿、金挺、棍棒、梯子、懷中電燈等ヲ夕刻工場附近迄「トラック」ニテ大夏大學方面ヨリ運搬シタル事實アリ又同會社ニ於テハ數日前ヨリ工人動搖ノ兆アリ注意中ナリシカ公安局ニ於テハ會社側ヨリノ取締方依頼ニ基キ同工場罷業計畫ニ關係アリト疑ハルル學生(大夏大學生ナリト言ハル)一名ヲ逮捕シ猶工場側ニ於テハ暴動ノ際指導ノ一人ト覺シキ使用工人ヲ逮捕シタルカ本件暴動ハ是等一味ノ計畫的指導ニ基クモノノ様觀察セラル

上 海 11月14日後発  
本 省 11月14日後着

往電第五二四號ニ關シ

第五二六號

尙内外綿各工場ハ其ノ後十六日中迄ハ多少出勤率惡シキ部  
分アリタルモ全部操業シタルカ十七日朝ヨリ又復情勢惡化  
シ同夜第二、第六工場ハ何レモ運轉ヲ停止シ復業ノ模様ナ  
ク全員ヲ退場セシメタルカ更ニ本日ニ入り第一、第五、第  
七工場セ操業セス全員退場ヲ命シ罷業スルニ至レリ陸戰隊  
ハ十八日午前三時頃内外綿及其ノ近傍ニアル日華紡ニ警戒  
ノ爲各一個小隊ヲ派遣シタリ

前電通り轉電、轉報セリ

満ヨリ關東局總長へ轉報アリタシ

~~~~~

329 昭和11年11月19日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

### 上海紡績罷業の青島への波及懸念について

青 島 11月19日後発  
本 省 11月19日後着

第二五四號

往電第二五一號二關シ

其ノ後當地邦人紡績ニ於テハ昭和四年紡(續)「ストライキ」  
ノ際活躍シタル工人其ノ他ノ不良分子中或ハ變名シテ工場

第五三七號

第三五四號

往電第五三一號二關シ

一、十八日午后寺崎ヲシテ市政府祕書長俞鴻鈞ヲ往訪セシメ  
往電第五三一號豐田紡事件ハ勞働爭議ヲ遙ニ逸脱シタル  
暴動ニシテ背後ニハ抗日救國會共產系不逞支那人ノ存在

スルコトヲ指摘シタル後(抗日救國會ノ黒幕ト目シ居ラ  
ルル章乃器(元浙江實業銀行副經理)、沈鈞儒(辯護士)、  
李公樸外五名ノ逮捕(共產黨狩リ)各大學内不穩分子ノ  
彈壓(特ニ暴行ニ參加セル。大學)四暴行犯人ノ逮捕等  
ヲ要求シ且豐田紡ノ損害ニ對スル要求ハ留保スル旨嚴重  
申入レシメタル處愈祕書長ハ事件當夜現場ノ巡捕ヨリ工  
人群多數ニシテ衆寡敵シ難キ處發砲シテモ差支ナキヤト  
指示ヲ仰キ來レルヲ以テ自分ハ自己ノ一存ヲ以テ發砲シ  
差支ナキ旨ヲ述ヘ但シ發砲セハ收拾スヘカラサル事態ヲ

招來スル惧アルヲ以テ出來得ル限りハ工人ノ解散ニ努力  
スヘシト指示シ今朝ハ公安局及社會局ニ對シ日本紡績ノ  
罷工ハ不法分子ノ煽動ニ依ルモノナルニ付嚴重調查ノ上  
不法分子ノ逮捕方嚴達セル次第アル處

(1) 沈其ノ他ハ市政府ニ於テ要注意中ノ者ナルモ同人等  
ノ地位等ニモ鑑ミ確證ヲ待テ逮捕セント考ヘ居レリ

ニ潛リ込ミ或ハ外部ニ於テ煽動ヲ策シ居ル者アルヤノ情報  
アリ又當地山東大學ニ於テハ綏遠抗敵後援會ヲ組織シ各方  
面ノ義捐金募集ニ着手セルカ其ノ宣傳中邦人紡績工場ノ總  
罷業斷行ヲモ附加ヘ居リ上海邦人紡績暴動化ノ報ト共ニ形  
勢樂觀ヲ許ササルモノアリ本官ハ隨時市長ヲ往訪青島ノ特  
殊事情ヲ說キ嚴重取締方要求シツツアルカ市政府ニ於テハ  
極力動搖防止ニ努メ居リ上海ヨリ入込メ失業工人一名ヲ  
銃殺ニ付シタル趣ナリ(以上十八日午後迄ノ情報)  
支、南京、北平、天津、濟南、漢口へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

330 昭和11年11月19日 在上海若杉総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

上海紡績罷業に対し章乃器ら抗日煽動者を逮  
捕や不穩分子の彈圧など嚴重取締方を市政府

に申入れについて

上 海 11月19日後発  
本 省 11月20日前着

第三五四號

往電第二五一號二關シ

二、十八日午後寺崎ヲシテ市政府祕書長俞鴻鈞ヲ往訪セシメ  
往電第五三一號豐田紡事件ハ勞働爭議ヲ遙ニ逸脱シタル  
暴動ニシテ背後ニハ抗日救國會共產系不逞支那人ノ存在

(此ノ點寺崎ヨリ確證ヲ待テハ際限ナキ旨ヲ述ヘタル  
ニ對シ考慮スヘシト言ヘリ)

(1)ハ實行スヘシ

(2)ハ既ニ手配済

四ノ暴行犯人ハ一人モ逮捕シ居ラサルモ右ハ事態惡化ヲ  
惧ルルノ餘リ手ヲ下ササリシ次第ニシテ日星ハ着キ居  
レハ間モナク逮捕スヘキ旨ヲ答ヘタル後出動セル陸戰  
隊ノ態度ニハ特ニ感謝シ居レル旨述ヘタルニ付寺崎ハ  
今回事態ヲヨリ重大化セサル爲隱忍自重事ナキヲ得タ  
ルモ將來同様ノ事件惹起セハ不測ノ事態ヲ發生スルヤ  
モ測ラレサル旨警告シ置キタル趣ナリ

五、同日午後寺崎ヲシテ工部局ニモ略同様ノ申入ヲ爲サシメ  
タリ  
冒頭往電ノ通り轉電、轉報セリ

満ヨリ關東局總長へ轉報アリタシ

331 昭和11年11月20日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業に対し經營側では事態惡化の場

合は工場閉鎖と決定し海軍側も陸戦隊上陸に

よる保護を検討中について

青島 11月20日後発  
本省 11月20日後着  
第二五六號  
往電第二五五號ニ關シ

十九日午後零時半ヨリ大日本紡工人一齊罷業ニ入りタルカ  
午後四時ニ至リ復業、日清紡ハ二十日午前六時罷業ニ入り  
タルカ九時ニ至リ復業、何レモ操業中ナルカ急業ノ氣分去  
ラス殊ニ大日本紡工場ノ工人甚タシ、市政府側ニ於テハ極  
力取締ニ任シツツアルモ其ノ態度ハ慰撫ノ程度ニテ徹底的  
彈壓ニアラス右ハ黨部ニ於テ工人ヲ煽動シ居ル爲市政府モ  
黨部ニ氣兼シ居ル結果ニアラスヤトモ察セラル節アリ工  
人等ノ要求事項ニ對シ傳ヘラル所ハ

(一)食事休憩時間ヲ一定シ午後三時ト九時ニ休憩時間ヲ設ク  
ルコト

(二)各部把頭カ幼女工ヲ毆打迫害セサルコト  
(三)現在ノ窮迫セル生活ニ考慮ヲ拂フコト  
(四)故ナク解雇セサルコト

### 抗日救国会の黒幕七名の一齊逮捕について

上海 11月23日後発

第五五〇號

往電第五三八號ニ關シ

二十三日午前鴻鈞ハ寺崎ニ對シ往電第五三七號ノ一ノ(一)  
救國會ノ黒幕章乃器、沈鈞儒、李公樸、王造時、史良、鄒  
韞奮、沙千里ヲ昨二十二日夜一舉ニ逮捕セル旨内報スルト  
共ニ右ハ支那側ノ希望ニ基キ共同及佛兩租界ニ於テ法規常  
例ニ拘泥ラス逮捕シタル經緯アル外逮捕ニ依ル反響ニモ鑑  
ミ新聞等ニ發表セサル様希望シ越シタリ

尙本官本日午後他用ヲ以テ市長ト會見ノ際市長モ右逮捕ニ  
關スル苦心ヲ述ヘ兎ニ角出來得ル限りノ努力ヲ爲シ居ル旨  
披瀝シタルヲ以テ本官ヨリ一應其ノ努力ニ謝意ヲ表シ置ケ  
リ

冒頭往電ノ通り轉電、轉報セリ

~~~~~

章乃器ら七名の逮捕に対し学生団体等が釈放  
方要求との中國紙報道について

本省 11月23日夜着  
北平 11月24日後発

第六三七號

上海發閣下宛電報第五五〇號ニ關シ

二十四日漢字紙ノ報道ニ依レハ章乃器以下七名ノ逮捕ハ中  
央社上海電トシテ二十三日當地ニ傳ヘラレシカ當地學生團  
体ハ即日東北大學ニ集合シ(一)中央ニ對シ右七名ノ釋放方ヲ  
電請シ(二)宣言ヲ發表シ其ノ愛民族精神ヲ紹介シ各界ノ援助  
ヲ求ム(三)人民ノ救國運動ノ安全ヲ保障シ之ニ對シ絶對的自  
由ヲ與フル様中央ニ要請スルコト等ヲ決議スル所アリ他方  
北平文化團體モ同人等ノ即時釋放方中央ニ電請セル趣ナリ  
御参考迄

支、在支各總領事へ轉電セリ  
支、在上海へ轉報アリタシ

~~~~~

332 昭和11年11月23日 在上海若杉總領事より  
本省 11月24日後発 有田外務大臣宛(電報)  
上海紡績罷業を煽動したと目される章乃器ら  
支、北平、南京、天津、濟南、漢口へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

尚上海ヨリ入込メル不良分子ハ當地及天津ニ於ケル罷業ヲ  
斷行シ上海方面ヲ應援スヘシト策動シツツアル趣ニテ天津  
ヨリ當地洋行筋ヘ天津工場モ不穩ナル旨情報アリタル由ナ  
リ

(四)工會ヲ承認スルコト  
等ナル趣ナルカ未タ紡績側ニ具体的ニ提示シ居ラス  
紡績側ニテハ十九日各社打合ノ結果待遇改善其ノ他ノ要求  
事項ハ一切受付ケス且今後ノ模様如何ニ依リテハ追テ工場  
閉鎖ノ舉ニ出ツヘキコトニ決シ又海軍側(目下攻磨碇泊中、  
二十日正午長良入港ノ豫定)ニテハ事態惡化シ日本人ノ生  
命財產ニ危害ノ及フ虞アルトキハ陸戰隊ヲ上陸セシメ必要  
ノ保護ニ任スル筈  
尙上海ヨリ入込メル不良分子ハ當地及天津ニ於ケル罷業ヲ  
斷行シ上海方面ヲ應援スヘシト策動シツツアル趣ニテ天津  
ヨリ當地洋行筋ヘ天津工場モ不穩ナル旨情報アリタル由ナ  
リ

上海邦人紡績工場での暴動事件に関する当局の陳

謝および損害賠償を市長に対し要求について

上　　海　　11月25日後発  
本　　省　　11月26日前着

第五五五號

豊田紡暴徒襲撃事件ニ關シテハ不取敢寺崎ヲシテ市政府及工部局當局ニ對シ往電第五三七號ノ通り嚴重申入レシメ置キタル處本件ニ關スル締括ヲ付クル意味合ノ下ニ二十三日本官吳市長ヲ往訪シ豊田紡ニ付テハ此ノ際「ロックアウト」スル外ナシトノ議起リ居リ斯テハ五千ノ失業者ヲ出シ其ノ家族ヲ合スルトキハ約一萬ノ被害者ヲ生スベ時節柄當地治安ノ上ニモ重大ナル結果ヲ持チ來スヤモ測リ難キヲ以テ成ルヘク速ニ豊田紡ノ復業ヲ行ハセ度キ處當局者側ニ於テハ今回ノ暴動ニ憤激シ少クトモ支那當局ノ陳謝、將來ノ保障及損害賠償ヲ實行シタル上ニアラサレハ再開セスト頑張リ居ルニ付右ノ情勢ニ鑑ミ市當局ニ於テ速ニ陳謝、賠償及將來ノ保障ヲ受諾セラレ度シト申入レタル處市長ハ同事件勃發ノ際ニ於ケル當館及我陸戰隊カ隱忍自重ノ態度ヲ持シタル爲不慮ノ事態ヲ生セサリシ機宜ノ措置ニ對シ滿腔ノ謝

トセリ

前電通リ轉電、轉報セリ

廣東ヨリ香港へ、滿ヨリ關東局總長へ轉報アリタシ

335 昭和11年11月28日 在青島西總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業をめぐり市政府の徹底鎮圧を條件として經營側代表と市長との間に貸上げ等の解決交渉妥結について

往電第二六四號

青　　島　　11月28日後発  
本　　省　　11月28日後着

意ヲ表スルト共ニ市政府トンテハ非常ナル決意ヲ以テ救國會ノ首謀者七名ヲ逮捕(往電第五五〇號參照)シタル苦心ヲ述ヘ市長トシテハ各方面ヨリ壓迫攻撃ヲ蒙リ居ル此ノ際成ルヘク自分ノ立場ヲ窮地ニ陥レシメサル様考慮アリ度キ旨ヲ懇願シ我方ノ要求ニ對シテハ取締及將來ノ保障ハ即座ニ承認スルモ陳謝及賠償ニ付テハ何レモ考慮ノ上回答スヘシト答ヘタルヲ以テ

本官ヨリ右ハ市長ハ本件ニ對シ責任ヲ負ハサル趣旨ナリヤト詰問シタル處市長ハ租界内外ニ拘ラス當地ニ於ケル出來事ニ對シテハ責任ヲ負フハ勿論ナルモ本件ハ果シテ陳謝及賠償ノ責任アリヤ否ヤハ即答スルヲ得スト逃ケタルヲ以テ本官ヨリ右要求ヲ主張シ其ノ詳細ニ付テハ寺崎及愈秘書長ニ於テ協議方然ルヘシト告ケ置キタルカ本二十四日寺崎他用ヲ以テ愈ト會見ノ際愈ハ個人ノ意見ナリトシテ陳謝ニ付テハ異議ナキモ賠償ノ責任ナシト論シ意見ノ一致ヲ見ルニ至ラス一方豊田工場ハ現ニ市長並ニ紡績同業會船津ヨリノ懇請ニ依リ杜月笙力調停ニ努力シ居ルヲ以テ杜ノ顔ヲ立テ二十六日ヨリ復業(表面ハ別トシ豊田ハ一日モ早ク復業シ度キ意嚮ヲ有シ居レリ)スルコトトシ尙交渉ヲ續ケルコト

其ノ後同業會ニ於テハ上海トノ振合ハアルモ現ニ上海ニ於テハ米價安ナルニ當地ニ於ケル麥粉ノ騰貴ニモ顧ミ麥粉廉賣ト共ニ五分ノ工賃値上ヲ認ムルニ決シタルカ(但シ麥粉廉賣ハ改メテ表面ニ出サス此ノ儘繼續シ單ニ工賃値上ノミヲ他ノ三條件ト共ニ容レタル形トス)二十五日午後一時半頃ヨリ大日本紡ニ於テ更ニ罷業起リ工場外ニ出テタル工人

右平岡、市長會談後本官市長ヲ往訪シ談合成立ヲ祝シ市政ツ様市府ニ於テ措置スルコト其ノ代リニ現ニ公安局ニ留置中ノ大日本紡工人三十名中ノ十名ハ不良工人ナラサルニ付同紡全工人カ連帶責任ニテ將來ヲ保障スル條件ニテ釋放就業ヲ會社側ニテ認ムルコトニ談合成リ右ニテ本件全部妥結シタルニ依リ二十七日午後五時市長ハ工人鎮壓ノ爲ノ布告ヲ發シ各工場モ同時ニ解決條件ヲ發表セリ

府側ノ努力ヲ多トスルト共ニ今後市長ノ責任ヲ以テ鎮壓方重ネテ念ヲ押シタルニ市長ハ之ヲ承諾シタルカ更ニ本官ヨリ工會ノ活動力種々弊害ヲ伴ヘル爲之ヲ停止シ來レル市長

ノ方針ハ今後モ之ヲ徹底的ニ繼續セラルコト紡績側ノ要望タルノミナラス當地ノ治安維持上ヨリモ必要ナルニ付勞働爭議等ノ場合ハ今次ノ如キ方法ニテ解決ヲ圖ルコトトシ將來モ工會ヲ活動セシメサルコトト致度シト述ヘタルニ市長ハ支那國內法上工會ハ存在スル建前ナルニ付之ヲ公然否認シ得サルモ事實上工會ノ活動ヲ停止スルノ方針ハ今後ニ於テモ變更セスト言明セリ

今後モ尙動搖アルヤモ知レサルモ右不取敢  
支、南京、北平、天津、濟南、漢口へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

336 昭和11年11月30日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業が解決条件発表後も鎮靜化しな  
いため市長に嚴重彈圧方説示について

青 島 11月30日前發  
本 省 11月30日後着

<sup>(1)</sup> 第二六七號  
往電第二六四號ニ關シ

移スルコト出來サルヲ以テ偶市長ヨリ要求容認ト交換的ニ鎮壓方申出アリタルヲ捉ヘ會社側トシテハ合理的の要求ヲ聽入レタルヲ以テ落度ナシトノ建前ヲ取り市長ノ面子ヲ立ツルト共ニ今後ノ一切ノ責任ヲ鎮壓ノ權力ヲ有スル市長ニ負ハセ置クコト將來如何ナル事態ニ立至ルトモ事件處理上好都合ナリトノ意見ニテ市長ノ申出ヲ容認スルコトトナレル次第ナリ

<sup>(2)</sup> 一方市政府側ニ於テハ當初ヨリ事態ヲ憂慮シ殊ニ陸戰隊ノ上陸又ハ工場閉鎖ニ依ル工人及其ノ家族等十數萬人ヲ路頭ニ迷ハスコトトモナラハ重大ナル政治問題化スヘキヲ惧レ黨部其ノ他ニ對スル遠慮ノ結果カ取締ニ手緩キ憾ハアリタルモ兔二角公安局、社會局ハ全力ヲ擧ケ不眠不休ニテ鎮撫ニ當リタルコトハ事實ニシテ今日迄ニ檢束セラレタル者百數十名ニ上ル有様ナルカ二十七日市長ノ(布告)發布後間モナク同夜長崎紡ニテ新ニ罷業起リタルノミナラス各社工人ノ風潮モ解決條件ニ對スル不滿其ノ他ニテ改善ノ模様ナキ趣ナリシヲ以テ二十八日本官市長ト會談ノ際市長ノ約束モアリ市長ノ權威ニモ關スルコトナレハ此ノ際思切ツテ彈壓

青島紡績罷業ノ原因ニ付テハ的確ナルコト知ルコト困難ナルモ工人カ上海ノ罷業ニ刺戟セラレ居リタル際上海ヨリノ聯絡者、黨部、共產黨其ノ他ノ不良分子カ之ヲ煽動シタル一方偶縫東事件ニ關聯シ當地ニ於ケル一般的反日感情モ手傳ヒタル等各般ノ複雜ナル事情(市長ノ舉ケタル工會利用ノ爲工人ヲ付ケ上ラセタルコトモ一因ナルヘシ)ニ依ルモノト察セラレ罷業振ハ比較的穩和ナルモ統制アリ罷業開始當時ハ工人側ヨリ何等要求等ノ提出ナカリシカ日ト共ニ運動力次第ニ經濟問題化シ待遇改善等ノ要求モ出ツルニ至レル處紡績側ニ於テハ當初要求條件等一切聽入レス場合ニ依リテハ海軍陸戰隊ノ派遣ヲ請ヒ又ハ工場閉鎖モ辭セサル覺悟ナリシカ罷業カ暴動化セサルニ又紡績側ヨリ經濟的的要求ニ對シ何等ノ「ゼスチユアー」モ示サス突然斯ル手段ニ出ツルコトハ大義名分モ立タス徒ニ相手方ニ乘セシムルノロ實ヲ與フルコトトナリ左リトテ何日迄モ不徹底ナル狀態ニテ推

337 昭和11年11月30日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業に対する市政府取締振りについて

青 島 11月30日後發

本 省 11月30日夜着

第二七〇號

往電第二六七號ニ關シ

二十八日午後三、大日本紡工人ノ動搖アリ二十九日朝ニ至

リ市政府トノ話合ニテ同紡ハ二十九日ヨリ三日間閉鎖ノコ

トニ決シタルカ沈市長ハ二十八日夜(本官ト會見後)及二十

九日午後自ラ四方滄口方面ニ出張取締ヲ督勵スル外市政府

ノ說諭ニモ拘ラス工人ノ執拗ナル態度ニ憤慨シ極力煽動者

ノ探索等ニ努メ特ニ二十九日夜ニ至リ市政府社會局勞働股

主任陳克耀<sup>①</sup>カ有力ナル背後關係者タルコトヲ確メ陳ノ(脱?)

三、四名ト共ニ之ヲ檢舉セリ

右ニテ動搖ハ次第ニ治ルモノト一般ニ期待セラル尙右陳ハ

罷業當初當館其ノ他ニ於テ黨部ト聯絡アル煽動容疑者タル

ノ聞込アリタルヲ以テ市政府側ニ注意シ置キタルモノナル

カ市政府側ニテハ何故カ斷然タル態度ニ出テサリシモ市長

ノ布告發布後モ工人ノ態度依然執拗ナル爲市長ノ面子及責

任ヲ追及スル我方累次ノ警告ト目下來泊中ノ軍艦(巡洋艦

三隻驅逐艦五隻)ニ依リ陸戰隊上陸ノ脅威ヨリ遂ニ前記ノ

舉ニ出テタルモノト察セラル

尙他ノ工場ハ二十九日晝間ハ公休ニシテ夜間ヨリ一齊操業

セリ出勤率普通ナリ

支、北平、南京、天津、濟南、漢口へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

338 昭和11年12月2日 在青島西總領事より

有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業の事態悪化に対し威信上断乎た

る措置が必要との方針で海軍側と意見一致に

ついて

青島 12月2日後発  
本省 12月2日夜着

第272号(至急)  
往電第二六七號ニ關シ

紡績罷業ハ其ノ後一般ノ期待ヲ裏切り動搖依然熄マス三十日ハ豐紡ニ於テ工人力日本人民員ニ木杆等ヲ投ヶ始メ又一日内外綿及日清紡ニ於テハ市政府側ニ引取ラレタル工人ト殘留工人トノ軋轢起り之ニ工賃五分値上モ休憩時間ノ運轉停止ニ依リ出來高低減スル爲却テ貨銀減額トナルヘシトノ理由モ附加セラレ同様怠業ノ結果遂ニ内外綿午前十時半日清紡午後一時半全工場休業スルニ至リタリ又長崎紡ニ於テハ工人カ機械ニ故障ヲ起サシメ又ハ故意ニ製品ヲ粗惡ナラ

シメントスルノ行爲アリ傾向悪化ノ模様アル處市政府側ニ於テハ表面努メテ取締ニ任スルカ如キモ紡績側ニ對シテハ更ニ待遇問題、解雇乃至釋放問題ニ付新ニ話ヲ持掛ケル等從來ノ約束ヲ嚴守セス往電第一七〇號陳克耀一派モ市内某

俱樂部内ニ軟禁セラレ居ルヤノ情報モアリ市政府側ノ取締ハ當ニナラストノ意見廣ク行ハレ同業會側ニテハ一日午後

四時之カ對策ニ付協議セル處大多數會社ハ此ノ際斷然「ロ

ツクアウト」ノ措置ニ出ツヘシトノ意見ナリシモ一、二會

社カ未タ右ニ同意スルニ至ラス

鎮壓ニ關スル市長ノ誓約ニモ拘ラス今尙動搖マス市政府

ノ取締能力ナキコトヲ如實ニ暴露シタル今日會社側カ目前

ノ利益ニ釣ラレテ一時ヲ糊塗スルカ如キハ將來工人ニ對ス

ル會社側ノ地位ヲ甚タシク不利ナラシメ(現ニ工場作業ニ

於ケル日本人監督ノ威令行ハレサルモノ少カラス)殊ニ罷

業勃發以來萬一ヲ慮リ當地ニ來航セル帝國軍艦(日下球磨

天龍、長良、龍田ノ外驅逐艦五隻)カ陳ニ威壓ヲ加ヘ居ル

モ尙黨部其ノ他ノ使嗾ニ依リ傾向悪化ノ徵アルコト明白ナ

ルニ拘ラス何等斷然タル措置ニ出ツルコトヲ得ストノ印象ヲ與フルコトハ帝國海軍ノ威信ニモ關スヘク旁本官トシテ

紡績側ニ於テハ二日午後ノ會議ニ於テ此ノ際全會社一齊ニ

斷乎「ロツクアウト」スルコトニ決定シ同日午後五時休業

339 昭和11年12月2日 在青島西總領事より

有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業の事態悪化に対し經營側が工場  
閉鎖の断行を決定について

青島 12月2日後発  
本省 12月2日夜着

第273号(至急)  
往電第二七二號ニ關シ

ノ旨掲示シテ工人ヲ退場セシメ全工場ヲ閉鎖セルカ今迄ノ處(一日午後八時)工人側ニ不穏ノ舉動ナシ海軍側ニ於テハ

上海ニ於ケル暴動ノ先例モアリ萬一ヲ慮リ日下上陸準備完成シ待機中ナリ(球磨ハ第一埠頭ニ横付ケ中)

支、北平、南京、濟南、漢口へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

海軍陸戰隊による青島市黨部等への家宅搜索の狀況および對外説明振りについて

341 昭和11年12月3日 在青島西総領事より 有田外務大臣宛(電報)

### 海軍陸戰隊による青島市黨部等への家宅搜索

青島 12月3日夜発 本省 12月3日夜着

340 昭和11年12月3日 在青島西総領事より 有田外務大臣宛(電報)

### 海軍陸戰隊の青島上陸および市黨部等の家宅

#### 捜索実施について

青島 12月3日前發 本省 12月3日前着

#### 第二七五號(大至急)

往電第二七三號ニ關シ

海軍側ニ於テハ事態ノ惡化ヲ顧慮シ三日午前四時陸戰隊(七百六十人)ノ上陸ヲ開始シ同六時四方、滄口方面各工場ニ配備ヲ了スルト共ニ市黨部、鐵路黨部等ノ手入ヲ行ヒ書類等押收セリ且下市中平穩ナリ

往電第二七五號ニ關シ

#### 第二七七號

一、海軍陸戰隊ノ手入セルハ市黨部(事務所及部員宿金)、鐵道黨部、圖書館、新聞社平民報、國術館及市政府財政局第三科長向宋鼎私宅ニシテ黨部關係者二名、國術館關係者二名、平民報社長、前記向<sup>(科)</sup>社長外ニ「ボーア」二名計九名ヲ書類ト共ニ陸戰隊本部ニ連行シ一應取調ノ上午前十一時頃直接公安局ニ引渡セリ

右手入ニ付外部ニ説明ノ必要アルトキハ黨部其ノ他カ今次罷業ノ黒幕ニシテ(圖書館ハ豫テ黨部員ノ集會所トセラレ各種策謀ノ根據地ト認メラレ居リ又平民報社長及向

#### う張群要求について

南京 12月4日前發 本省 12月4日前着

#### 第九九七號

川越大使ヨリ

往電第九九四號會見ノ際張群ヨリ青島ニ於テ日本陸戰隊上陸シ黨部等ヲ搜查シ且關係者ヲ逮捕スル等ノ行動アリ此ノ儘ニテハ重大ナル事態トモナルヘキニ付右等ノ行動ヲ至急差止メラル様特ニ本使ノ考慮ヲ請フ旨繰返シ述ヘ居タルニ對シ本使ヨリ青島ニ於テ現ニ邦人ノ生命財産ニ危險アル爲海軍ニ於テ已ムナク必要ナル措置ニ出テタルモノナルヘク此ノ種事態ニ際シテハ陸戰隊ノ上陸ハ前例モアルコトニテ左程問題トセラルル必要ナシト思考スルモノ御申出ハ一應政府ニ電報シ置クヘシト應酬シ置キタリ

尙支那側新聞情報ハ陸戰隊ハ黨部ヲ占領セリ等報道シ異常ノ注意ヲ惹キ居ル模様ナリ

支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

海軍陸戰隊の青島での活動を至急中止するよ

支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

342 昭和11年12月4日 在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛(電報)

海軍陸戰隊の青島での活動を至急中止するよ

海軍陸戦隊の青島上陸および市党部等の家宅  
捜索に対する外交部抗議について

南 京 12月4日後発  
本 省 12月4日後着

第一〇〇〇號

往電第九九七號ニ關シ

張外交部長ハ三日附川越大使宛照會ヲ以テ最近青島日本紡績工場ニ於テ工賃値上要求ヨリ労働争議ヲ惹起シ地方官憲ニ於テ調停ニ當り解決可能ノ状態ニアリ且工人方面ニモ何等不穩ノ行動ナキニ拘ラス日本ハ突然陸戦隊約千名ヲ上陸セシメ九會社二分駐スルト共ニ別働隊數十名ハ市黨部、鐵路黨部、同警務處、國術館等ヲ搜査シ重要文獻ヲ搜查抄錄スルト共ニ國術館ノ祕書ヲ逮捕シタル趣報告ニ接シタルカ日本側カ故ナク紗廠ノ一齊停工ヲ行ヒ保護ニ名ヲ藉リ陸戰隊ヲ揚陸シ任意捜査逮捕ヲ行ヒタルハ啻ニ風潮ヲ激化セシムルノミナラス支那ノ主權ヲ破壊スルモノナルニ付嚴重抗議ス就テハ大使ヨリ陸戦隊即時引揚、紗廠原狀恢復、被逮

捕者釋放、爭議ノ解決ハ地方官憲ノ調停ニ俟ツノ諸項實行方取計ハレ度ク尙其ノ非法行爲ニ對シテハ適當ノ要求ヲ留保ス右至急御處置ノ上回答ヲ望ム旨申越セリ

尙本四日ノ各紙ハ五六段抜ニテ「日本ハ我青島機關ヲ包囲ス」トカ「青島ニ日軍ノ暴行發生ス」等ノ大見出ヲ附シ敍上ノ事態ヲ報道シ居リ又中國日報ハ「異ナル哉日海軍ノ暴行」ナル社説ヲ掲ケ不平ヲ列ヘルト共ニ昨夜ノ大使、張群會見ト陸戦隊上陸トノ間ニ何等因果關係アルカ如キ臆測ヲ爲シ居レリ

支、北平、天津、青島、濟南へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

344 昭和11年12月4日 在青島西總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

青島邦人紡績工場の一齊臨時休業実施および  
必要な場合は適當なる措置を執るべき旨市長

ヘ通告について

青 島 12月4日後発  
本 省 12月4日後着

第二七四號  
往電第二七三號ニ關シ

二日夕沈市長ヲ往訪紡績罷業ハ市長ノ取締確約ニ拘ラス工人ノ不穩行動ハ依然トシテ終熄セス且市政府社會局ノ役人カ主謀者ノ一人トシテ拘留セラレタルニ拘ラス尙擴大ノ模様アリテ不安ニ堪エス邦人從業員ノ生命並ニ工場機械、營造物ノ危害防止ノ爲本日ヨリ一齊ニ臨時休業ノ已ムナキニ至リタル旨通告シタル處沈ハ滿面憂色ヲ漲ラシ自分トシテハ誠心誠意全力ヲ盡シテ罷業鎮壓ニ努メタルモ完全ニ解決シ得サリシハ遺憾ナルモ滄口方面ハ何等動搖ナキ今日突然一齊休業ヲ行ヒ多數工人ヲ路頭ニ迷ハシメ一大社會問題ヲ醸成スルニ付紡績側ノ眞意ヲ質シ今後ノ善後措置ヲ講シ度キ處自分トシテハ紡績側ノ希望スル如何ナル方法ニテモ容ルル考ナルカ

(一)全部ノ工人解雇ニ依リ社會問題發生ヲ防止スルコト

(二)今次ノ罷業問題ニ藉口シテ軍事占領等ノ政治的、軍事的

ヲ希望スト述ヘタルヲ以テ

本官ハ市長カ罷業問題ニ關シ相當努力セラレタル點ハ認ム

345 昭和11年12月4日 在青島西總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業收拾のため市長に履行を要求す

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

~~~~~

青 島 12月4日後発

本 省 12月4日後着

第二八〇號(至急)

往電第一七七號ニ關シ

紡績側ハ何日迄モ工場ノ閉鎖ヲ續クルコト出來サル一方海

軍側モ移動期ニ際シ無期限ニ陸戰隊ヲ上陸セシメ置クコト出來サル關係上今後ノ措置ニ關シ四日午後外、陸、海三者ノ協議會ヲ開催セル結果

(イ)紡績ハ工場閉鎖ハシタモノノ自ラ悲鳴ヲ舉クルカ如キ印象ヲ與ヘサルコト

(ロ)陸戰隊ハ其ノ威力ニ依リ充分上陸ノ目的ヲ達シ今後ノ見極ヲ立テ獨自ノ見解ヨリ引揚クルモノナル立場ヲ失ハサルコト

ノ二點ヲ基礎トシ成ルヘク速ニ市長ニ對シ

(ハ)鎮壓ノ全責任ヲ持チ乍ラ事茲ニ到ランメタルコトニ對スル陳謝

(二)黨部(市黨部及鐵路黨部)ノ解散

(三)國術館ノ閉鎖

(四)市政府内不逞職員ノ馘首(人名ハ當方ヨリ通知ス)

346 昭和11年12月4日 在青島西總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

## 青島紡績罷業收拾に関する市長との会談について

青 島 12月4日後発  
本 省 12月5日前着

第二八二號

往電第一八〇號ニ關シ

四日午後一時半沈市長來訪陸戰隊上陸及上陸後ノ黨部手入等ハ遺憾ナル出來事ニテ右ニ付テハ既ニ正式ニ抗議シ置キタルカ陸戰隊ハ何日頃引揚クルヤ黨部等手入ノ際押收セラレタル書類ハ政府ノ訓令モアリ速ニ返還アリ度シ尙今後モ右種手入行ハルルニ於テハ民心ノ動搖收拾シ難キモノアルヘキニ付之以上ノ手入ナキコトヲ希望ス更ニ日本浪人等力一部支那人ト共謀シ事變ヲ起サント企圖シ居ルヤノ噂行ハルルニ付取締ラレ度シ最後ニ紡績側ハ工場再開ニ付如何ナル方針ナルヤ社會局ト速ニ協議セシメ度シト申出テタルニ付本官ヨリ貴方ニ於テ今次ノ罷業取締勵行セス市長ノ約束モ實行セラレサリシ爲今日ノ事態トナリタル次第ナルカ陸戰隊ノ上陸シタルノミナル今日ニ於テ今後ノ善後處理ニ關

(イ)解雇セラレタル不良工人ノ市外ヘノ追放

(ウ)前項不良工人中ノ罪重キ者ノ處罰

(エ)事件背後ノ煽動者ノ市外追放(人名ハ當方ヨリ通知ス)

(オ)排日新聞記事ノ嚴重ナル取締

(カ)市政府内ニ日本人顧問ノ採用

(キ)諸項履行方要求スルト共ニ右要求ノ承認、不承認トハ獨立シテ紡績側ヲシテ成ルヘク速ニ再開ノ手段ヲ執ラシメ(先ツ不良工人ヲ徹底的ニ調査シテ之ヲ解雇シ善良工人ノミヲ集メ再開シ得ル工場ヨリ漸次操業ス)陸戰隊ハ再開後適當ノ期間(長キヲ要セス)工場ノ平穩ナルヲ見極メタル後逐次引揚クルコト但シ前記要求ノ容レラレサル間ハ全部ノ引揚ヲ爲サス一部青島市内ノ適當ナル地點ニ殘留セシムルコト(此ノ點ハ結局青島ニ於ケル陸戰隊ノ常駐トモナルヘシ)ニ打合セタリ

右ハ五日入港ノ及川長官ト更ニ協議ノ上決定スル豫定ナルカ本件ニ關シ何等御意見アラハ大至急御回電相成度シ

支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

廈門ヨリ廣東へ轉報アリタシ

(ロ)罷業ノ煽動關係者ヲ一掃スルコト  
之ナリ紡績側トシテハ先ツ不良工人ト認ムル工人ヲドシドシ解雇スヘン右ニ付テハ社會局ト相談ヲ要セサルモ解雇後ノ措置方ニ付テハ市政府ノ協力ヲ求ムヘシ(市長承諾ス)罷業煽動ノ背後關係ニ付テハ個人ハ嚴重處罰シ團體ハ之ヲ解散スル等思切リタル肅清措置ヲ講セサルヘカラス又市政府内ノ不良分子モ此ノ際一掃スルヲ要ス例ヘハ社會局ノ改組ノ如シ陸戰隊カ今後ニ手入ヲ行フヤ否ヤハ承知セサルモ海軍側ハ恐ラク市長カ今後如何ナル肅清工作ヲ行フヤヲ見守リ居ルナラン押收書類ノ返還希望ハ陸戰隊ニ傳ヘ置クヘシ日本浪人云々ニ付テハ自分モ支那人間ニ種々ノ噂アルコトヲ聞キ居ルモ我方ハ飽迄公明正大ノ態度ヲ以テ一貫スル方針ニシテ不逞ノ策動ヲ許ササル意囑ナリト答ヘタリ  
(ハ)對シ市長ハ罷業煽動者ハ今日迄發見次第逮捕シ居リ中

ニハ三名ノ支那人共産黨員モアリ今後モ貴方ヨリ御通知アラハ更ニ逮捕スヘキカ自分ハ冀東政府ヤ冀察政權ニアラサルヲ以テ陸戰隊ノ監視ノ下ニ肅清ヲ行フヲ欲セヌ殊ニ黨部ノ解散、市政府ノ改組ノ如キハ到底行ヒ得サル所ナリト述ヘタルニ付本官ヨリ非常ノ場合ニハ非常ノ決心ヲ以テ斷行スルノ要アル旨ヲ力説シ置ケリ

支、在支各總領事ヘ轉電セリ

廈門ヨリ廣東ヘ轉報アリタシ

347 昭和11年12月7日 有田外務大臣より  
在青島西總領事宛(電報)

### 青島紡績罷業收拾のための履行要求事項は必

要最小限度にすべき旨訓令

本省 12月7日夜発

第一五六號  
貴電第一八〇號ニ關シ

第三艦隊參謀長發海軍宛電報ニ依レバ五日貴官陸海軍武官平岡等會合協議ノ結果事件ヲ局地的ニ且迅速ニ解決シ紡績工場ハ速ニ操業ヲ開始セシムル事ニ方針決定セル趣ノ處右

348 昭和11年12月8日 在青島西總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

### 青島紡績罷業收拾のための履行要求事項申入 れおよび市長回答振りについて

支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ  
以上陸海軍ト打合濟

ハ此ノ際極メテ機宜ニ適スト認メラルニ就テ冒頭貴電我方要求條項ノ作成ニ當リテモ右方針ノ迅速ナル貫徹ヲ期スルヲ以テ主眼トシ從ツテ條件ハ解決ニ必要ナル最小限度ノ範圍ニ止メ直接事件ニ關係ナキ事項ハ之ヲ見合スコトセラレ度シ(此ノ意味ニ於テ黨部ノ解散ニハ實現ニ相當ノ困難アルベク又日本人顧問ノ採用ニハ多少牽聯性ヲ缺クノ嫌アリテ此ノ際如何カト存ズ尙國術館ノ閉鎖要求ニ就テモ同様ノ疑問アルモ右ガ必要且要求貫徹ノ見込アルニ於テハ排日團體タルノ點ニ付確證ヲ舉ゲ置カレ度市政府内不逞職員ノ誠首要求等ニ關シテハ之ガ人選ニ付充分注意ノ要アルベシ其ノ他ノ點ニ就テハ貴電ノ通りニテ差支ナシ)

第二八七號  
貴電第一八〇號ニ關シ

青島 12月8日後発  
本省 12月8日夜着  
往電第一八〇號ニ關シ

五日前八時半出雲入港直ニ今後ノ對策ニ付協議セル結果

(同日午後ノ會議ニハ天津軍和知參謀モ谷萩少佐ト共ニ出席セリ)大体冒頭往電ノ手段ヲ以テ押スコトニ意見一致シタルヲ以テ同日夜本官沈市長ニ會見前回會見ノ際述ヘタル事態收拾ニ關スル本官所見(往電第二八一號)ノ趣旨ヲ敷衍シテ要求事項ヲ申入レタル處沈ハ黨部解散、國術館ノ閉鎖、市政府職員ノ鹹首、顧問採用ノ四點ニ付難色ヲ示セルカ本官ヨリ右諸項ハ今後青島ノ明朗ヲ期スル爲極メテ肝要ナルコトヲ説示シ置ケリ

一方第三艦隊司令部ニ於テハ工場閉鎖長引キ陸戰隊引揚延ヒルニ於テハ支那側ノ態度強硬トナリ事態悪化スヘキヲ理由トシ速ニ工場ヲ再開セシムヘキヲ主張シタルヲ以テ六日門脇ヲシテ周參事ニ當面ノ急務ハ紡績力再開シテ平穩ニ操業シ陸戰隊モ安心シテ引揚ケ得ル如キ狀態ヲ作ルニアルヘク市政府側ニ於テモ右ニ努力スル要アル旨ヲ説カシメタル

尙前記一般の要要求ニ關シテハ其ノ後本官及市長間ニ連日交渉スル所アリタルカ今日迄ノ經過大要左ノ通り  
イ、市及鐵路黨部ノ解散ニ付テハ市長ハ黨ハ政府ノ上ニアルヲ以テ之ヲ實行スル能ハサルモ自分ハ黨ノ中央委員タルノ資格ニ於テ當地兩黨部カ今後工場關係ノ事ニ活動セ

ス乃至外國關係事項ニ關與セサル様中央黨部ノ承諾ヲ取付クルヲ得ヘシト述ヘ居レリ(未決)  
ロ、國術館ニ付テハ市長ハ今後館員カ不軌ノ行動ニ出テサル様取締ルヘク又四方、滄口ノ國術練習所(總計二十數箇所ナルカ從來兎角日本人ト問題ヲ起シタルノミナラス  
今次罷業ノ際各種協議ノ爲ノ會合所トナリ又多數ノ罷業者乃至煽動者ヲ出セリ)ハ之ヲ整理シ工場附近ノ練習所ヲ減少方考慮中ト述ヘタリ

(我方ハ全部閉鎖ノ主張)  
ハ、社會、公安兩局長ハ今次罷業取締不徹底ノ外前者ハ部下ヨリ煽動者ヲ出シタル爲罷免ヲ要求シタルモノナル處當初市長ハ兩局長共罷業中終始寢食ヲ忘レテ奔走セリ之ヲ罷メサセル位ナラ自分カ罷メルト頑張リタルカ我方トシテモ今直ニ罷免スルハ當面收拾上支障アルヘキニ付事態一段落ノ後辭職スルコト妥當ト認メ右趣旨ニテ折衝セルニ市長モ遂ニ交渉者トシテハ申兼ヌルモ事態原狀ニ復シタル上ハ辭職方取計フ意嚮ナル旨内話セリ

二、顧問ニ付テハ既ニ市政府ニ多數ノ邦人顧問アリ又右ハ今次事件ニ關係ナシトテ難色ヲ示セルニ付本官ハ青島市

昭和11年12月10日 在青島西總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

### 青島紡績罷業收拾のためのわが方要求事項を

#### 市長心諾について

別電一 昭和十一年十一月十日發在青島西總領事より  
有田外務大臣宛第二九〇号

#### 工場再開に関する合意事項

二 昭和十一年十一月十日發在青島西總領事より  
有田外務大臣宛第二九一号

#### 非公表の市長了解事項

青 島 12月10日後発  
本 省 12月10日夜着

第二八九號(至急)  
往電第二八七號ニ關シ

大體右往電ノ程度ニテ交渉ヲ取纏ムル爲當方ニ於テ取極ノ實質ヲ一書ニセル案文ヲ作り八日午後門脇ヲシテ同參事ニ提示セシメタルニ後刻周ハ工場再開ニ直接關係セル事項ニ付テハ異議ナク公文ノ往復モ爲スヘキモ其ノ他ノ一般問題(黨部、國術館、兩局長罷免、顧問、排日ノ取締)ニ付テハ

右様ノ次第ニテ我方要求各項ハ相當程度容レラルル見込トナレルカ貴電第一五六號御訓令ノ次第モアリ最短期間内ニ交渉妥協方取計フ筈追テ交渉中市長ヨリハ陸戰隊ノ上陸及黨部等ノ手入ニ付本官ヨリ何等カノ方法ニテ遺憾ノ意表明方申入レタルモ之ヲ拒絶セリ又市長ハ工場ノ再開、我方要求全部ノ容認、兩局長ノ罷免等ヲ以テ陸戰隊引揚ト交換的ニ行ヒ度キコトヲ提示セルモ本官ハ其ノ都度拒絶シ引揚ハ海軍獨自ノ見解ニ依リ行ハルヘク我海軍ヲ能ク承知セル市長トシテハ此ノ點ニ付テモ海軍ノ誠意ニ依頼シ然ルヘキ旨應酬シ置ケリ  
支、北平、在支各總領事へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

從來ノ話合トハ多少相違ノ點モアリ之ヲ受領シ難シトテ返却方申出テタルニ依リ門脇ヨリ同案ハ單ニ雙方協議ノ基礎トシテ提示セルモノナルニ返却云々ハ了解シ難ク強ヒテ返却セハ重大問題ヲ惹起スヘシトテ其ノ儘引取ラシメタルカ同日夜市長本官ヲ來訪一般問題ノ案文中從來ノ話合ト相違ノ點ニ付修正(努メテ内容ヲ局限セントス)ヲ申入レタル上之ハ書物ニスル能ハストテ同案ヲ重ネテ返却セントシタルニ依リ本官ヨリ市長ハ南京交渉ニ於ケル張部長ノ眞似ヲ爲サントスルモノナリヤ尙聞クカ如クンハ市政府ハ本日門脇ヨリ案文作成ニ付申入ヲ爲シタル以前ニ於テ我海軍側ニ邦人顧問ヲ派シ本問題ニ付了解ヲ求メタル趣ナルカ本件ノ如キハ純然タル市政府、總領事館間ノ問題ナルニ貴方ニ於テ斯ル遣方ヲ爲スハ不届千萬ナリト極付ケ再會ヲ約シテ兎ニ角案文ヲ持歸ラシメタリ市長ハ海軍側ノ了解ヲ得タリト思惟シ右ノ如キ態度ニ出テタルモノト察セラルル處斯クテハ陸戰隊引揚後ニ於ケル取締カ果シテ誠實ニ實行セラルルヤモ疑問ナルヲ以テ翌九日朝門脇ヲシテ市長ノ不誠意ナル態度ニ鑑ミ總領事ハ當分市長トノ面會ヲ拒絶スル旨周二通告セシメタルニ其ノ後周ヨリ屢面會ヲ申込ミ支那側作成ノ案

文モ持參スル旨述へ頻リニ歎願シタルニ依リ門脇ヲシテタ

刻面會セシメタル處先方ニ相當改悛ノ模様モ見エタルヲ以

テ同夜右兩人間ニ交渉ヲ行ヒ形式問題ニ付話合纏マリタル

外、國術館等ノ實質問題ニ付テモ更ニ我方ノ主張ヲ容認セ

リ依テ十日夜別電第二九〇號内容ノ公文往復ヲアシタル後

本官官邸ニ於テ市長ト會見別電第一九一號了解事項(兩局

長ノ辭職ハ記載セサリシモ遠カラス實現ノ筈)ノ内容ヲ確

認シタル上一應本交渉ヲ終結セリ

尙工場側ハ兩三日前ヨリ不良工人合計約六百名ヲ罷免シ内

約二百名ヲ青島市管外ニ放逐セシメテ内部ノ淨化ヲ行ヘル

カ明十一日ヨリ開工準備ニ着手シ遠カラス開工ノ運トナル

筈

別電第二九〇號及第一九一號ト共ニ支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

(別電一)

青島 12月10日後発  
本省 12月10日夜着

第二九〇號(至急)

七、將來公安局ハ獨自ノ見解ヲ以テ治安維持ノ爲不良工人取締ノ徹底強化ヲ期スヘキコト  
八、紡績ニテハ解雇手當ヲ支給セス又休業中ノ手當ニ代ヘ出勤獎勵金トシテ一定額ヲ與フルモ(出勤遲延ノ者ニハ減額ス)此ノ上工人ノ不穩行動ナキ様支那側ニテ嚴重取コト

(別電二)

青島 12月10日後発  
本省 12月10日夜着

第二九一號(至急)  
(外部ニ發表セサル本官沈市長間了解事項)

一、黨部關係(市黨部及鐵路黨部)

邦人經營工場方面ニハ黨部ヲ一切關與セシメサルコトヲ市

長カ國民黨中央委員タルノ個人ノ資格ヲ以テ中央黨部ニ進言シ以テ將來一切ノ排日活動ヲ爲サシメサルコト

二、國術館關係  
(1)市政府ハ將來國術館員カ國術本來ノ使命ヲ守リ決シテ排日其ノ他軌道外ノ行動ニ出テサル様嚴重取締ルコト

(2)市政府ハ國術館ヲシテ四方、滄口ニ於テ國術練習所ヲ設立又ハ經營スルコトヲ禁止セシメ且日本紡績工場職工ノ國術練習所ヘノ入所練習ヲ許ササルコト

三、市政府所屬機關ノ日本職員

(紡績工場再開ニ關スル事項)

一、解雇セラレタル不良工人中罪重キ者ノ處罰  
二、右不良工人ノ青島市外ヘノ追放

工場側ヨリ既ニ追放ヲ要求セル者及今後追放ヲ要求スル者ニ付テモ同様ナリ

三、追放セラル者以外ノ被解雇工人ノ取締ハ特ニ留意シテ嚴重之ヲ行ヒ事件(再發ニ關シテハ責任ヲ執ルヘキコト四、罷業背後ノ煽動者ノ青島市外ヘノ追放(其ノ「リスト」ハ提出濟)

五、中國側ニ於テ工人ノ復職ヲ阻止スルカ如キ行動ヲ許サルノミナラス積極的ニ(官憲ノ告示其ノ他ノ方法ヲ以テ)復職方鞭撻、督勵スルコト

六、解雇セラレタル不良工人ヲ市政府ノ勤務員タラシメサルコト

七、將來公安局ハ獨自ノ見解ヲ以テ治安維持ノ爲不良工人取締ノ徹底強化ヲ期スヘキコト  
八、紡績ニテハ解雇手當ヲ支給セス又休業中ノ手當ニ代ヘ出勤獎勵金トシテ一定額ヲ與フルモ(出勤遲延ノ者ニハ減額ス)此ノ上工人ノ不穩行動ナキ様支那側ニテ嚴重取コト

350 昭和11年12月11日 在青島西總領事より

有田外務大臣宛(電報)

青島紡績罷業收拾のための履行事項の文書化

実施について

青島 12月11日後発  
本省 12月11日夜着

第二九二號

往電第二八九號ニ關シ

往電第二九一號ノ了解事項ハ市長ニ於テ署名スルカ如キ正式ノ協定トスルコトニ飽迄反對セルモ或程度ノ書物トスルコトニハ同意セルヲ以テ豫メ門脇、周間ニ打合ノ結果當方に於テ了解事項ヲ文書ニ作成シ置キ十日夜冒頭電末項ノ通り市長ヲ本官官邸ニ招致シ門脇、周兩人立會ニテ本官ヨリ

右文書ヲ市長ニ提示シテ其ノ相違ナキコトヲ確カメタル後  
周ハ右文書ノ寫ヲ作成シ之ヲ市政府ニ保管スルコトトセリ  
而シテ當方作成ノ原文末尾ニ「市政府ニ保存ノ爲周參事本  
書ノ謄本ヲ作成シテ持歸レル」旨ヲ記載シテ周之ニ署名捺  
印シ又周ノ作成セル寫ニハ「本謄本ハ原文ト相違ナキコト  
ヲ認ム」旨ヲ記載シテ門脇之ニ署名捺印セリ

支、在支各總領事ヘ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

351 昭和11年12月14日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

#### 青島邦人紡績工場の操業再開状況について

青 島 12月14日後発  
本 省 12月14日夜着

支那側ニ於テハ市長ノ布告、附近ノ各縣、村長ニ對スル協  
力ノ依頼、職員ノ勸誘等ヲ以テ相當積極的ニ工人ノ出勤ニ  
努メタル模様ナルカ各工場ハ十四日午前六時一齊ニ開工セ  
往電第二八九號ニ關シ

支那側ニ於テハ市長ノ布告、附近ノ各縣、村長ニ對スル協  
力ノ依頼、職員ノ勸誘等ヲ以テ相當積極的ニ工人ノ出勤ニ  
努メタル模様ナルカ各工場ハ十四日午前六時一齊ニ開工セ  
往電第二八九號ニ關シ

開工ニ際シ支那側ヨリ約二百名ノ巡警ヲ派遣シ取締ニ當レ  
ルカ(我方ニテハ取締ハ原則トシテ支那側ヲシテ當ラシム  
ルコトニ打合セタリ)極メテ靜穩ニ就業シ今迄何等事故ナ  
シ工人ノ氣分モ良好ニ見受ケラル趣ナリ  
尙工場側ヨリ支出スル出勤獎勵金ハ一日十五錢ノ割合ヲ以  
テ十四日ヨリ十日間ヲ限り毎日之ヲ支給スルコトニ決定セ  
リ

支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アレ

352 昭和11年12月24日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

#### 青島紡績龍業の事態収拾に伴う陸戦隊の引揚 げ実施について

青 島 12月24日前着  
本 省 12月24日前着

第三一二三號

清九五、豊田九三、  
各工場全運轉

支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

353 昭和11年12月31日 在青島西総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

沈鴻烈が龍業事件の責任者として辞表を提出  
したとの情報に関連して後任市長候補につき

意見具申

青 島 12月31日後発  
本 省 12月31日後着

名足ラス常置シアリタルヲ増員スルモノナリ從來ト異ナル  
ハ棍棒ニ代ヘ拳銃ヲ携帶スルニ止マル)二十三日正午一齊

ニ引揚ケ之ニテ全部ノ引揚ヲ終リ警備司令官宇垣天龍艦長  
ヨリ引揚ニ關スル聲明書ヲ發表セリ二十二日ノ紡績側ノ  
(發表)左ノ通り(二十三日ハ公休日)

出勤率日本紗九一、五%(以下同様)同興一〇〇、富士九一、  
鐘紗九四、上海一〇〇、長崎九四、八、内外八七、二、日

ル處出勤率大日本紗約八十%、内外綿七十八%、日清八十  
%、豐田七十一%(職工ノ多數カ遠隔ノ地ヨリ來レル結果  
ナリ)上海八十五%、鐘紗七十九%、長崎八十%、富士八  
十%、同興八十六%ニシテ又運轉率ハ日本紗機八十九%、織  
布九十九%、内外七十%、日清八十九%、豐田八十九%、上海九  
十九%、鐘紗織布第一、三工場全運轉、第二工場九十三%、  
紡機部全運轉、長崎七十%、富士紡機九十九%、織布九十三  
%、同興紗機七十三%、織布八十九%ニシテ豫期以上ノ成績  
ナリ

ルカ自分ハ直接電文ヲ見サリシ旨語レル趣ナリ

右沈ノ辭表提出ハ曩ニ本官ノ要求ニ依リ事件ノ直接責任者トシテ公安、社會兩局長ノ職ヲ免シ（表面辭表聽許ノ形ニテ一月一日實行ノ由）タル關係上自分モ中央ノ慰留ヲ豫期シテ申譯的ニ爲シタルモノト察セラル處陸軍特務機關ニ於テハ右情報ヲ得ルヤ直ニ其ノ後任トシテ石友三、王芳亭ノ何レカカ適當ナルヘキ旨天津軍ニ通知セル處軍側ヨリ何レモ異議ナキ旨ノ回答アリタル趣ナリ田尻武官ハ右兩名ノ外支那第三艦隊ト良キ賈德耀モ適任ナルヘシトノ意見ナルニ對シ矢萩少佐モ異議ナキ旨述ヘ居レリ

尙特務機關ハ國民政府ニ於テハ後任トシテ殷同又ハ余晉龢ヲ擬シ居ル處軍側ニ於テハ殷同ハ北寧ヲ追ハレタル經緯、同人ノ金錢ニ對スル嗜好、當地ニテ製鹽業ニ從事シ居ルコト等ヨリ沈以上ニ不適任ト考ヘ居リ余晉龢ハ可モナク不可モナシ位ノ所ナルモ軍ニテハ贊成シ居ラサルニ付（本官ハ

豫テ私見トシテ余ヲ推シタルニ陸海軍武官共左シテ異議ナカリシコトアリ）南京方面ニテモ成ルヘク前記三名ノ何レカノ就任ヲ見ル様努力願度キ旨述ヘ居ル處本官ニ於テモ過般ノ紡績罷業ニ於ケル沈市長ノ遣口等ヨリ見ルモ其ノ辭職ハ惜ムニ足ラサルノミナラス寧ロ適當ノ後任アラハ積極的ニ之ヲ交替セシムコトモ必要ナルヘシト思考シ今次ノ紡績罷業關係ノ交渉ノ際モ今後留任ヲ望ムカ如キ言辭ハ一切慎ミタル次第ナルカ要ハ其ノ後任者カ我陸海軍ニ氣受宜シキ外韓復榦トノ關係モ良ク將來北支經濟開發ニ或程度積極的ニ協力シ得ルト共ニ支那第三艦隊トモ適當ノ聯絡ヲ付ケ得ル人物ナルコトヲ理想トシ右ニ當嵌マル者ナラハ敢テ前記三名ニ限ル要モナント思考シ居レリ

支、北平、在支各總領事へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

## 6 青島方面への中国税警團移駐問題

354 昭和12年3月30日 在瀋南有野總領事より 佐藤外務大臣宛（電報）

青島への税警團派駐を財政部決定との韓復榦  
内話について

濟南 3月30日夜發  
本省 3月30日夜發

第五二號

本官發青島宛電報

第一四號

二十九日韓復榦ノ内話スル所ニ依レハ財政部ハ今回青島ノ密輸出、入取締ヲ強化スル爲新ニ青島ニ税警團ヲ派駐スルコトトシ此ノ旨最近中央ヨリ内達シ來リ且下青島側ニ於テ團兵ノ配置方法等計畫中ナル趣ナリ御参考迄  
大臣、支、上海大使、北平、天津、芝罘へ轉電シ坊子、博山、張店へ暗送セリ

~~~~~

355 昭和12年5月8日 在青島大鷹總領事より 佐藤外務大臣宛（電報）

税警團を招致したのは沈鴻烈青島市長の策動  
であるとの情報について

青島 5月8日夜發  
本省 5月8日夜發

第一二五號

一、黃杰ノ率ユル第二師ヲ以テ税警團ノ名目ニテ山東省内ニ引入レタルハ（右止規兵ハ鐵兜、銃劍ヲ有シ靈山灣ヨリ上陸シ税警團服ニ着替ヘタルモノナル由）沈市長ノ策動ニ依ルモノノ如ク偶々邦字新聞カ之ヲ素破抜キタル爲沈ハ狼狽シテ係員ヲシテ館員ニ對シ右ハ事實無根ノ旨頻リニ陳辯セシメタル趣ナルモ石野武官ハ本官ニ對シ韓復榦ヨリ極祕ト前提シ沈ノ策動事實ナルコト聞込ミタル旨語レリ

二、市政府李警察局長ハ六日夜突然田尻武官ヲ來訪シ北平ヨリ綏（遠）方面ニテハ日支父戰中ニテ近ク青島方面ヘモ日本軍到着ノ筈ナリトノ情報ニ接シタル處右様ノ事實アリヤト眞面目ニ尋ねタルヲ以テ同武官ヨリ一笑ニ附シ置キ

495